



日语

第二册

孙宗光 王亚新 编



417940

1126

S93

2

日 语

第 二 册

孙宗光 王亚新 编

商 务 印 书 馆

1998 年·北京

图书在版编目(CIP)数据

日语 第2册/孙宗光,王亚新编.——北京:商务印书馆,1998
ISBN 7-100-02441-2

I. 日… II. ①孙… ②王… III. 日语-教材 IV. H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字(97)第 00865 号

Dulan 1-2

Rì Yǔ

日 语

第 二 册

孙宗光 王亚新 编

商 务 印 书 馆 出 版

(北京王府井大街36号 邮政编码100710)

新华书店总店北京发行所发行

河北三河市艺苑印刷厂印刷

ISBN 7-100-02441-2 / H·631

1998年11月第1版

开本 850 × 1168 1/32

1998年11月北京第1次印刷

字数 196千

印数 2000册

印张 8 3/4

定价: 13.10 元

前言

本书系一九八七年原高等院校专业外语编审委员会日语组编审会议上通过的教科书。但由于当时的主观原因中断了对其初稿的编审工作，给学习者带来了不便，对此表示歉意！

本书的前半部即第一册已于一九八六年在商务印书馆正式出版。本教材是在第一册的基础上为进一步提高日语的理解和阅读能力而编写的。其中包括文科和科普二种内容的文章，兼顾了文理科共用的综合性，本教材，约需二七六个小时。

编写内容有『课文』『生词』『语法』『句型』『惯用词组』『常用词语』和『练习』。通过对课文中语法现象的分析，以及句型、词汇和大量的练习，对提高学生的日语阅读、理解能力很有帮助。本教科书是由北京大学教授孙宗光和讲师（当时）王亚新共同编写的，并由孙宗光定稿。

一九九六年九月二十日 于北京

目 录

第十九课 人類と文明の起こり

语法 五

一、慣用型 五

(一) ようになる

(二) を に(と)する

(三) と考えられる

(四) となる

二、构词法 七

构词动词「始める」「合う」

三、常用词语「それに」「(お)互い」「主」「それで」

「ついに」「それぞれ」 八

第二十课 化学

语法 一六

一、助词 一七

(一) 格助词「に」的用法补充

(二) 格助词「から」的用法补充

(三) 格助词「の」和其它助词的重叠

二、形式体言「わけ」 一八

三、慣用型 一九

(一) ばかりではない

(二) する

(三) ているうちに

四、构词法 二〇

构词动词「つける」「つく」「出す」「かえる」

る」

五、常用词语「まま」「できる」「どんどん」「加える」

「手に入れる」 二二

第二十一课 空気と人間

语法 二七

一、助词「こそ」「さえ」と「へ」と 三一

二、形式体言「はず」 三三

三、慣用型 三四

(一) と言われている

(二) ように見える

(三) どんなに て(で)も

四、常用词语「ところが」「実」「もと」……………三五

第二十二課 親切ということ……………四〇

語法……………四四

一、動詞的使役被動態……………四五

二、助詞「は」「も」「どころか」「なんて」「に」
して」……………四六

三、助動詞「べし」……………四九

四、慣用型……………四九

(一)……………ないうちに

(二)……………てから

(三)……………(よ)うが……………まいが

(四)……………なしで／ないですむ

(五)……………かもしれない

(六)……………からといって

五、構詞法「～返す」……………五一

六、常用词语「それなら」「でも」「余計」「や
つと」「別」「都合」とたん」……………五二

第二十三課 蛋白質の歴史……………五九

語法……………六三

一、助詞「か」「ほど」として」……………六四

二、慣用型……………六五

(一)……………(の)かという

(二)……………とすれば

(三)お……………になる

三、接尾詞「的」……………がたい」……………六六

四、常用词语「うまい」「せいぜい」「やむなく」
「そこで」「少なくとも」……………六七

第二十四課 ことばの意味と用法……………七三

語法……………七九

一、助詞「か」と「と」……………と(では)「ぞ」
「のに」……………八〇

二、「ものだ(もんだ)」……………八二

三、慣用型……………八二

(一)……………がする

(二)……………代わり(に)

(三)……………上で(は)

四、常用词语「もともと」「おのずから」「ばか
にする」「骨を折る」……………八四

第二十五課 歴史を調べてみないとわから
ないことが多い……………八九

语法 九四

一、格助词「から」的用法补充 九四

二、**体言**として(は) 九五

三、**时间名词**で(は) 九五

四、**体言**から**体言**にかけて 九五

五、惯用形 九六

(一) ないでいる

(二) いくら ても(でも)

(三) に(減る)

(四) ことが多い

六、常用词语「ただ」「ずいぶん」「案外」「納得」 九七

第二十六课 紀念写真 一〇三

语法 一〇七

一、助动词「みたいだ(です)」 一〇八

二、接续助词「ては」 一〇九

三、口语中的约音现象 一〇九

四、口语中命令语气的表达形式 一一〇

五、终助词「わ」「な」 一一一

六、慣用型 一二二

(一) ところ

(二) ないでしょう

(三) 同一动词连用形的重叠。

七、常用词语 一二二

(一) ふり「名・接尾」

(二) とおり「名・接尾词」

(三) なんだか「副」

(四) 「とうとう」「副」

第二十七课 デンキウナギ 一二八

语法 一二二

一、慣用型 一二二

(一) ちなみに

(二) べく

(三) なら ない

(四) たと(に)しても

二、构词法「〜上がる」 一二四

三、常用词语「せい」「ほんの」「はらう」「手当りしだい」 一二五

第二十八课 一方交通の文化 一二九

語法	一三四
一、助詞	一三五
(一) 副助詞「のみ」	
(二) 「において」	
(三) 接續助詞「ながら(も)」	
(四) 接續助詞「(という)ものの」	
二、補助動詞「(て)ある」	一三七
三、慣用型	一三七
(一) (目)にする	
(二)わけではない	
(三) いかに.....か	
(四)と見てよい	
(五)まいとする	
四、構詞法	一三九
(一) 「」得る」	
(二) 「」残る」	
五、常用词语	一四〇
「より」「並(並)ならぬ」「瞬く間に」	
「それなり」「なお」「何事によらず」	
「細大漏らさず」「ゆえん」	

第二十九課 嫌な音	一四六
語法	一四九
一、動詞連用形「てほしい」	一五〇
二、名詞「なしで(も)」	一五〇
三、動詞推量形「(よ)うとしない」	一五〇
四、動詞未然形「ん(ぬ)ばかり」	一五〇
五、常用词语	一五一
(一) どうやら	
(二) ともかく(として)	
(三) とたん	
第三十課 ことわざ	一五五
語法	一六三
一、文語否定助動詞「ず」	一六四
二、文語形容詞活用	一六四
三、慣用型	一六五
(一)ように	
(二)かと思えば	
(三)なんといっても	
四、接尾詞	一六六

- (一)「ゝがる」(五段活用)
- (二)「ゝ苦しい」

五、构词法……………一六七

- (一)「ゝ返す」
- (二)「ゝ込む」

六、常用词语……………一六八

- (一)「気がき(利)く」(词组)
- (二)「角(かど)が立つ」(词组)
- (三)「折(おり)」(名)

第三十一課 木を見て森を見ず……………一七四

语法……………一七九

一、助词……………一八〇

- (一)副助词「だって」

- (二)格助词「より」的用法补充

- (三)「との」

二、否定推量助动词「まい」……………一八一

三、惯用型……………一八二

- (一)………つつある

- (二)………あまり

四、构词法……………一八二

- (一)「ゝき(切)る」
- (二)「ゝ直す」

五、接尾词……………一八三

- (一)「ゝだらけ」
- (二)「ゝごと(毎)」(に)

六、常用词语……………一八四

- (一)………つい
- (二)………かぎり
- (三)………いったん
- (四)………それでも
- (五)………大目に見る
- (六)………夢中

第三十二課 カ口……………一八九

语法……………一九三

一、使役助动词「しめる」……………一九三

二、接续助词「た(だ)って」……………一九四

三、副助词「すら」……………一九五

四、接续词「それゆえ」……………一九五

五、副助词「からこそ」……………一九六

六、副助词「なんか」……………一九六

七、慣用型……………一九六

(一)それほど……ない

(二)……とは思えない

(三)動詞連用形たためしがない

(四)用言連体形(現在時)ばかりだ

八、常用词语……………一九七

(一)全然(ぜんぜん)

(二)わざと

(三)ふし(節)

第三十三課 日本の住居……………二〇二

语法……………二〇六

一、助词……………二〇七

(一)格助词「に」表示原因的用法

(二)副助词「だの」

二、慣用型……………二〇八

なぜなら……から(だ)

三、接尾词「向き」……………二〇八

四、常用词语……………二〇八

(一)もつとも〔接続〕

(二)あくまで(も)〔副〕

第三十四課 運転手さん……………二二三

语法……………二二八

一、「タリ・ト」型形容词……………二二九

二、敬语动词「なさる」……………二二〇

三、慣用型……………二二〇

(一)……(ように)聞える

(二)……とはいえ

(三)いかにも……ようだ(らしい)

四、接头词「薄(うす)」……………二二一

五、接尾词「ばり」……………二二二

六、构词法「抜く」……………二二二

七、常用词语……………二二三

(一)すっかり

(二)まことに

(三)次から次へと

(四)かえって

第三十五課 仁王……………二二八

语法……………二二三

一、助词……………二三四

(一)副助词「って」

(二) 副助词「とは」	
二、助动词「たまえ」	二三六
三、惯用型	二三六
(一)……に相違ない	
(二)なんでも……そうだ(らしい)	
(三)……ずにいる	
(四)……やいなや	
(五)……た(か)と思ったら(思うと)	
(六)……はずが(は)ない	
(七)……までだ	
四、接尾词「がてら」	二三八
五、常用词语	二三九
(一)しきりに	
(二)よほど(よっぽど)	
(三)なんとなく	
(四)さすが	

(五)はたして(果(た)して)	
第三十六课 敬語	二四四
语法	二五七
一、敬語的构成形式	二五七
二、助词	二六三
(一)副助词「まで」	
(二)终助词「たら」	
三、惯用型	二六四
(一)……てもかまわない	
(二)一概に……と(は)言えない	
四、接尾词「かねる」	二六四
五、常用词语	二六五
(一)やたら(と/に)	
(二)なんでもかでも	
(三)あいにく	

第十九課 人類と文明の起こり

人類がこの地球上に現れたのは、いまから百万年以上も前と考えられています。人類が地球のどこから起こったかは、まだはっきりしていませんが、アフリカから出たアウストラロピテクス、インドネシアのジャワ島から出た直立猿人、それに中国の北京の近くで発掘されたペキン原人が、いちばん古い人類の化石と考えられています。

それに続いて、旧大陸の各地に、ネアンデルタール人と呼ばれる人類が広がりましたが、それは、いまからおよそ二十万年前から七、八万年前の頃のことです。

そして、二、三万年前、すなわち、最後の氷河期が過ぎるころ、新しいタイプの人類が旧大陸の各地に現れ、やがて新大陸にも移りましたが、これが、わたしたちと同じ種類の人類の祖先と考えられています。

人類は、この百万年という長いときを過ごすうちに、しだいに、ほかの動物と違った特徴をあらわすようになりました。かれらは火を起こしたり、道具を作ったり、また、ことばを使って、たがいに話しあったりするようになりました。そのころの人々は、主に石を材料として、いろいろな道具を作りました。それで、長い間続いたこの時代を石器時代といいます。石器時代は、さらに旧石器時代と新石器時代に分かれます。

旧石器時代には、石のふちを打ちかいて刃とした程度の簡単な石器（打製石器）のほか、土器も作られるようになりました。また、動物を飼いならし、食用の植物を栽培しはじめました。

このように、牧畜や農耕の生活が進むにつれ、同じ血筋から起こった人々は、しだいに共同生活を始め、かしの指図に従うようになりました。

その後、およそ紀元前四〇〇〇年ごろから、人類は金属を利用するようになりました。はじめに銅器を、ついで銅に錫を交ぜて作った青銅器を、そして、ついには鉄器を使うようになりました。文明が開け、国家のしくみが整うようになったのも、このころからです。

世界のうちで、もつとも早く文明の光がさし始めたのは、エジプトのナイル川、メソポタミアのチグリス・ユーフラテスの二つの川、インドのインダス川、それに中国の黄河のほとりでした。

これらの地方は、いずれも氣候が暖かく、大きな川が流れていて、土地がこえ、はやくから農耕が行なわれ、交通が開けていました。そこで人々が集まり、多くの村落ができました。大きな川のほとりの農耕には、たくさんの人々が力をあわせる大規模な治水・灌漑が必要です。

このような協同作業が、文明を推し進める力となり、やがて、それぞれの川のほとりが一つのまとまった国家となり、権力のある王に支配されるようになりました。（秀村欣二『物語世界史』による）

生词

人類(じんるい)〔名〕 人类

文明(ぶんめい)〔名〕 文明

起こり(おこり)〔名〕 起源、发生、产生

アウストラロピテクス〔Australopithecus〕〔名〕 南方古猿

インドネシア〔国名〕 印度尼西亚

ジャワ島(とう)〔Jawa〕〔地名〕 爪哇岛(印尼)

直立猿人(ちよくりつえんじん)〔名〕 直立猿人

発掘(はつくつ)〔名・他サ〕 发掘

ペキン原人(北京げんじん)〔名〕 北京猿人

化石(かせき)〔名・自サ〕 化石

各地(かくち)〔名〕 各地

ネアンデルタール人(じん)〔Neanderthal〕〔名〕 尼安德特人

人

すなわち(即ち)〔接〕 即、则、就是

氷河期(ひょうがき)〔名〕 冰河期

過ぎる(すぎる)〔自上一〕 过、经过、渡过、逝去

タイプ(type)〔名〕 类型、型、型号

移る(うつる)〔自五〕 移动、迁移

祖先(そせん)〔名〕 祖先

特徴(とくちょう)〔名〕 特征、特色

火(ひ)〔名〕 火

起こす(おこす)〔他五〕 生(火)、发动

道具(どうぐ)〔名〕 工具

話しあう(はなし合う)〔自五〕 交谈、商量

石(いし)〔名〕 石头、岩石

時代(じだい)〔名〕 时代、年代

石器(せつき)〔名〕 石器

分かれる(わかれる)〔自下二〕 分为、分开、区别

ふち(縁)〔名〕 边、边缘

打ちかく(うちかく)〔他五〕 敲尖、打出缺口

刃(は)〔名〕 刃

程度(ていど)〔名〕 程度

打製石器(だせいせつき)〔名〕 打制石器

磨く(みがく)〔他五〕 磨、刷

磨製(ませい)〔名〕磨制

土器(どき)〔名〕土器、泥器

飼いならす(かいならす)〔他五〕驯化

食用(しょくよう)〔名〕食用

栽培(さいばい)〔名・他サ〕栽培、种植

牧畜(ぼくちく)〔名〕畜牧

農耕(のうこう)〔名〕农耕

血すじ(ち筋)〔名〕血统、血缘

共同(きようどう)〔名・自サ〕共同

かしら(頭)〔名〕首領、头目

指図(さしず)〔名〕指挥、命令、吩咐

従う(したがう)〔自五〕遵从、按照、照办、服从

紀元前(きげんぜん)〔名〕公元前

銅器(どうき)〔名〕铜器

ついで(次いで)〔副〕接着、随后

銅(どう)〔名〕铜

錫(すず)〔名〕锡

混ぜる(ませる)〔他下一〕混合、搀和

青銅器(せいどうき)〔名〕青铜器

鉄器(てつき)〔名〕铁器

開ける(ひらける)〔自下一〕开化、开通、进步

しくみ(仕組)〔名〕组织、结构

整う(ととのう)〔自五〕齐整、完备

さす〔差(射)す〕〔自五〕照射

エジプト(Egypt)〔国名〕埃及

ナイル川(がわ)〔Nile〕〔地名〕尼罗河

メソポタミア(Mesopotamia)〔地名〕美索不达米亚

チグリス・ユーフラテス(Tigris·Euphrates)〔河名〕底格

里斯、幼发拉底(河)

インド(India)〔国名〕印度

インダス川(Indus)〔河名〕印度河

黄河(こうが)〔名〕黄河

ほとり〔辺・畔〕〔名〕边、河(湖)畔

地方(ちほう)〔名〕地方、地区

いずれも(何れも)〔副〕都、全、总之

気候(きこう)〔名〕气候

流れる(ながれる)〔自下一〕流、流淌、流过

こえる(肥える)〔自下一〕肥沃、肥

村落(そんらく)〔名〕村子、村落

あわせる(合せる)〔他下一〕合并、合(力)

大規模(だいきぼ)〔形动ダ〕 大規模
 治水(ちすい)〔名・自サ〕 治水
 灌溉(かんがい)〔名・他サ〕 灌溉
 協同作業(きょうどうさぎょう)〔名〕 協同作業

语法

推し進める(おしすすめる)〔他下一〕 推进、促进
 権力(けんりょく)〔名〕 权力
 王(おう)〔名〕 王、国王
 支配(しはい)〔名・他サ〕 统治、支配

一、惯用型

- (一) ……ようになる
- (二) ……を……に(と)する
- (三) ……と考えられる
- (四) ……となる

二、构词法

- (一) 构词动词「始める」
- (二) 构词动词「合う」

三、常用词语

- (一) それに (二) お互い (三) 主
- (四) それで (五) ついに (六) それぞれ

一、惯用型

- (一) 动词连体形 ようになる

表示事物逐渐变化的过程或结果等,有时与可能态结合使用,相当于汉语的「变得(能够)……」「能……」等。例:

・日本語を一年ぐらい勉強したので、いまでは、簡単な文章を読んでわかるようになりました。
・子供は、もう一人で歩けるようになった。
・人類は、この百万年という長い時を過ごすうちに、しだいにはかの動物と違った特徴をあらわすようになりました。

(二)、**体言**を**体言**に(と)する

表示将某事物变成或当作另一事物,相当于汉语的「使……成为……」「以……为……」等。例:

・本を枕にして、椅子の上で一眠りをした。

・医者をしているお父さんは、将来自分の息子も医者にしたいと思っている。

・李部長を始めとする経済代表団は、六月十日からヨーロッパ五か国を訪問した。

・そのころの人人は、石を材料にしているいろいろな道具を作りました。

(三)**句子**と考えられる

前接句子(用言终止形)或体言等,表示作为一般的意见、看法的陈述语气,相当于汉语的「一般认为……」「估计……」等。例:

・梅雨に入るのは、六月からと考えられる。

・昨年の大地震で、死者は百人を越えたものと考えられる。

・人類がこの地球上に現れたのは、いまから百万年以上も前と考えられています。

(四)**体言**となる

表示变化的结果等,相当于汉语的「成为……」「变成……」等。例如: